ソウルマラソン 2019　報告書

大会名：2019 SEOUL INTERNATIONAL WHEELCHAIR MARATHON

日時：9 月 1 日

結果：7 位(1 時間　26 分 58 秒)

福岡県　洞ノ上選手(文責)

今年もソウルマラソンに出場してきました。

この大会は、毎年 4 月の第 4 週に開催されているのですが、今回は、ゴールとなる競技場の改修作業のため、9 月開催となりました。

このコースは、スタート直後は、フラットで高速となり、5 ㎞地点からアップダウンが始まり、そこで一気に集団は小さくなります。

今年も 5 ㎞を過ぎた頃には 8 人の集団となっていました。

その後もアップダウンを繰り返すコースなので、そのアップダウンを利用して、10 ㎞地点までに 3 度ほど仕掛けました。

しかし、逃げが決まりそうで、あと一歩決めきらず、逃げては集団に吸収され、を繰り返してしまいました。

そして、10 ㎞地点で 3 度目のアタックが失敗に終わり、集団が私に追い付いてきた時に、ラワッタナ選手の強烈なカウンターを受けました。

ラワッタナ選手は、この大会で、過去何度も優勝している選手で、今回も優勝候補筆頭の選手でした。

そのラワッタナ選手のカウンターに反応したのが、地元韓国選手のユ･ビョンフン選手だけでした。

私は、その瞬間、集団の後方にいて、追撃するポジションにいませんでした。

追撃ポジションにいても、追撃できる体力が残っていたかは微妙ですが･･･

アタックした選手を追撃するには、かなりの労力が必要となり、リスクも大きくなりますが、追撃のタイミングが一瞬でも遅れてしまうと、一気に差が開くので、一瞬のためらいが勝負を分けてしまいます。

逃げた先頭の二人とは、徐々に差が広がり、あっという間に 100m ほどの差となってしまいました。

100m は、時間にしたら 10 秒ほどですが、前の2選手も必死で逃げているので、なかなか縮まりません。

私も積極的にローテーションに加わり、先頭の二人を追いかけました。

近づいたり、離されたりを繰り返しながら、必死で追いかけましたが、15 ㎞地点から徐々に引き離されてしまいました。

20 ㎞地点では、先頭集団からユ･ビョンフン選手が脱落して、私たちの第二集団に吸収されました。

その地点では、第二集団は、私を含む7人の集団でした。

それ以降も、第二集団ではアタックが繰り広げられました。

私は、後半になればなるほど、調子を上げていくタイプでしたが、ここ数か月スプリントの強化を行ってきましたので、スタミナには不安を持っていました。

スタミナ不足と、前半のアタック等もあり、後半はかなりきつい状況でした。

「ここで集団から離れたらどんなに楽になれるか」と、珍しく弱気な自分が出てくるほどでした。

しかし、気持ちを立て直しながら、なんとかラストまで踏ん張ることができました。

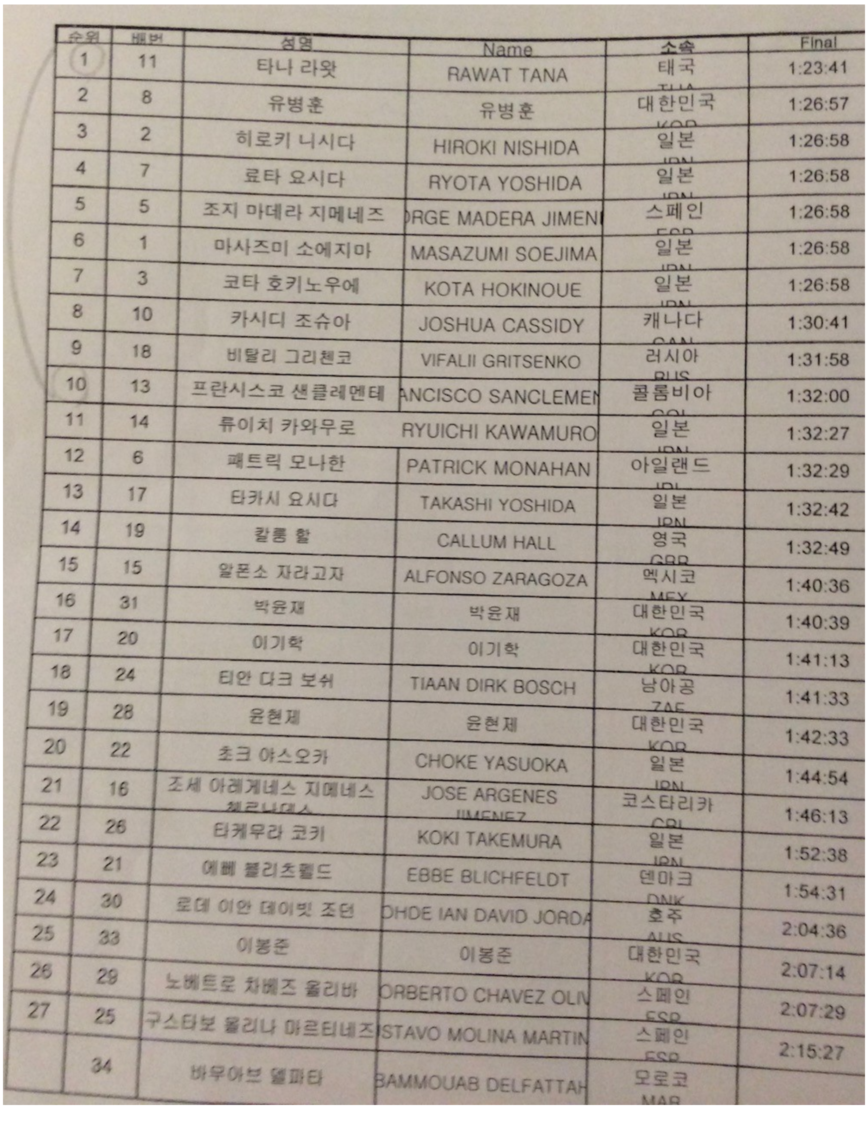
競技場に入る直前に、とても狭くなる個所があるのですが、そこで海外選手のプレッシャーに負けて、ブレーキをかけてしまい、後方での競技場入りをしてしまいました。

後方からラストスパートをかけ、4 レーンから抜きにいくしか手段(ルート)がなく、強引に抜きにかかりましたが、第4コーナーで力尽き、集団の最後方(7位)でのゴールとなってしまいました。

スプリント強化を行ってきて、最後のスプリント勝負で結果を出すことができませんでしたが、レース中は評価できるところもありましたし、課題も見つかりましたので、次に活かしたい思います。

今回の大会で 3 位～7 位まで同タイムでしたので、世界ランキングは 11 位から 6 位に上がっていると思って、今確認しましたら、8/30 に中国で開催された大会で、中国選手 7 名が、今回の私たちのタイムを上回ってきました。
それに伴いランキングは 14 位と後退してしまいました。
中国選手のタイムを見る限り、皆でローテーションをしてタイムを出しにいってるのが分かります。
このタイムを上回るには大分国際しかないと思いますが、あまりタイムは気にせず、来年のワールドカップマラソンの日本代表権獲得にフォーカスしたいと思います。

次戦は、ベルリンマラソン(9/29)です。
引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。



순위	배번	성명	Name	소속	Final
1	11	타나 라왓	RAWAT TANA	태국	1:23:41
2	8	유병훈	유병훈	대한민국	1:26:57
3	2	히로키 니시다	HIROKI NISHIDA	일본	1:26:58
4	7	료타 요시다	RYOTA YOSHIDA	일본	1:26:58
5	5	조지 마데라 지메네즈	RGE MADERA JIMEN	스페인	1:26:58
6	1	마사즈미 소에지마	MASAZUMI SOEJIMA	일본	1:26:58
7	3	코타 호키노우에	KOTA HOKINOUE	일본	1:26:58
8	10	카시디 조슈아	JOSHUA CASSIDY	캐나다	1:30:41
9	18	비탈리 그리첸코	VIFALII GRITSENKO	러시아	1:31:58
10	13	프란시스코 샌클레멘테	ANCISCO SANCLEMEN	콜롬비아	1:32:00
11	14	류이치 카와무로	RYUICHI KAWAMURO	일본	1:32:27
12	6	패트릭 모나한	PATRICK MONAHAN	아일랜드	1:32:29
13	17	타카시 요시다	TAKASHI YOSHIDA	일본	1:32:42
14	19	칼룸 할	CALLUM HALL	영국	1:32:49
15	15	알폰소 자라고자	ALFONSO ZARAGOZA	멕시코	1:40:36
16	31	박윤재	박윤재	대한민국	1:40:39
17	20	이기학	이기학	대한민국	1:41:13
18	24	티안 다크 보쉬	TIAAN DIRK BOSCH	남아공	1:41:33
19	28	윤현제	윤현제	대한민국	1:42:33
20	22	초크 야스오카	CHOKE YASUOKA	일본	1:44:54
21	16	조세 아레게네스 지메네스	JOSE ARGENES	코스타리카	1:46:13
22	26	타케무라 코키	KOKI TAKEMURA	일본	1:52:38
23	21	에베 블리츠펠드	EBBE BLICHFELDT	덴마크	1:54:31
24	30	로데 이안 데이빗 조던	OHDE IAN DAVID JORDA	호주	2:04:36
25	33	이봉준	이봉준	대한민국	2:07:14
26	29	노베트로 차베즈 올리바	ORBERTO CHAVEZ OLI	스페인	2:07:29
27	25	구스타보 몰리나 마르티네즈	STAVO MOLINA MARTIN	스페인	2:15:27
	34	바무아브 델파타	BAMMOUAB DELFATTAH	모로코	

リザルト。3 位から 7 位までが同タイムという接戦でした。